

未来へはばたけ



令和8年3月2日
おおたかの森小学校
学校便り3月号

心より感謝申し上げます

校長 北野 美紀

学校の敷地内にある梅の花が咲き、桜のつぼみは日に日にふっくら大きくなり、春の訪れを待っているかのようです。

早いもので、今年度も締めくくりの時期を迎えました。

先日実施した今年度最後の授業参観・懇談会には、たくさんの保護者の方にご参観・ご参加いただきありがとうございました。当日は、学級閉鎖のクラスもありましたが、実施した学年やクラスでは、それぞれ学年のまとめとしての発表や子ども達の成長をみていただけたのではないのでしょうか。また、この1年間を通して、読み聞かせ等の学習ボランティアや登校時の旗振りボランティア等、様々な場面で、学校のサポーターとして子ども達の成長を温かく見守ってくださった保護者の皆様には、心より感謝申しあげます。本当にありがとうございました。

子ども達の活動に目を向けると、先日実施した児童会役員引き継ぎ式では、新旧の児童会役員から、今まで頑張ったことや引き継ぐ思い、これからの決意が語られ、バトンパスが行われました。6年生を送る会は、昨年度までとは趣向を変更して実施しました。子ども達の思いを大事にしなが、6年生への感謝の気持ちが伝わりとても温かい会となりました。3月は学年の締めくくりとして、一人一人が自分の成長を振り返り、次の学年への希望を持って進んでいけるよう、最後まで丁寧に支援して参ります。

さて、来年度は、子ども達が安心して楽しく学びができる環境を整え、個々の様子を多面的に見取り、支援を進められるようにすることを目的として、「チーム担任制」を導入する予定です。チーム担任制では、これまでのように一人の担任が学級を受け持つ形にとられず、複数の教員が学年全体を見守り、協力しながら子ども達を支えていきます。複数の目で見守ることで、一人一人の小さな変化や成長に気がつきやすくなり、よりきめ細やかな支援が可能になります。また、子ども達にとっても、相談できる大人が増えることで、安心感のある学校生活につながると考えています。

また、今年度同様、学年の発達段階に応じて、一部教科においては、「教科担任制」を取り入れ、授業の充実を図って参ります。学年の教員が分担して授業を担当します。教材研究を深めた質の高い授業の提供や、指導方法の工夫により、子ども達の学ぶ意欲や理解の深まりを目指していきます。複数の教員が学習指導に関わる事で、個々の良さを見取り、個別最適な学びの推進にも繋がると考えています。そして、様々な教員と関わる事は、子ども達の視野を広げ、コミュニケーション力の育成にもつながります。教職員がチームとして力を合わせ、一人一人の成長を丁寧に支えていく仕組み作りを目指して参ります。

詳細につきましては、来年度の学校だより及び、第1回懇談会時にご説明させていただきます。ご不安な点もあるかもしれませんが、学校としましては、保護者の皆様と一緒に、「未来にはばたく子ども達の幸せな成長」を目指して、取り組んでいきたいと考えております。ご理解ご協力の程、よろしく申し上げます。